



新年おめでとうございます

社会福祉法人 栄光会 理事長 北 林 登美雄

栄光会は今年で 24 年目を迎えました。昨年は、特別養護老人ホームなみきロイヤルの園（80 床・ショート 20 床）を開設し、法人としては 5 か所の特養を運営することとなりました。既存の施設を含め、地域に根ざした施設づくりを目指すとともに、選ばれる施設となるよう努力してまいりたいと思います。また、最近では、「平成最後の〇〇」というフレーズをよく見聞きするようになりました。「平成」は今年の 4 月 30 日にて終了し、翌 5 月 1 日からは新元号がスタートします。時代が変わる、貴重なこの節目を大切に、新たな時代に向かって突き進んでまいりたいと思います。本年も変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人 啓仁会

法人本部

（埼玉県所沢市）
常務理事 高見 修也

魅力のある病院・施設・法人作りを！



皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、ダブル改定の年でしたが、現場の皆様のご努力でなんとか乗り切ることができました。心より感謝申し上げます。

しかしながら、ダブル改定は乗り切っても、人手不足、施設の老朽化など、我々を取り巻く環境は課題が山積みです。特に人手不足の問題は深刻で、2040 年までは、高齢者が増加する一方、労働人口は減少の一途をたどるため、最も厳しい期間となります。

色々な意味で魅力のある病院・施設を作っていくことが、患者さんや利用者さんにも支持され、職員も集まることにつながります。

混合介護への取り組みなど、新しい流れにも挑戦することで、社会貢献にも法人の魅力作りと発展につなげていきたいと思っています。

平 沢 記 念 病 院

（埼玉県所沢市）
院長 井川 真理子

新年明けましておめでとうございます



昨年は隔離室の増床工事等が終了し、今迄以上に幅広い疾患（状態）の患者様の受け入れ態勢が整いました。引き続き埼玉県精神科救急医療体制においても役割を担っていく予定です。

平成 29 年度から委託を受けている認知症初期支援チームの拠点病院としての活動は、少しずつ件数が増えてきました。支援チームに多くの期待を持たれてとまどったり、あまり知られていなくて依頼が少なかったり、と始まったばかりで課題が山積んでいます。所沢市医師会、地域包括支援センターなどの関連機関と話し合いの場を持って進めていきたいと思っています。



今年もスタッフ一同で協力しながら、地域の皆様に貢献していきたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

平成クリニック

（埼玉県所沢市）
院長 構木 睦男

今年はフェイクと如何に戦ましょうか？



この 2 年間、世界はいかさまトラップに振り回されました。フェイクニュースが蔓延しています。ネットによって世界の知識の顕著な底上げがされました。昔から教育にも格差

がありました。ちょっと昔では宗教家と一部のエリートが知識を独占していて、一般人は文字さえ読めませんでした。書籍文化では出版される前にいろんなチェックが入ります。ネットは超スピードでチェックはゼロで、情報の氾濫です。貴重な情報を選ぶ力があれば情報の格差を無くす力もあります。しかし、嘘の方が真実よりも広がり易いのも現実ですので、今後情報の価値を査定する NPO 等の格付け組織の創設が望まれます。客観性を持たせる為にスポンサー無しで一回 10 円等課金する等の工夫も必要です。



介護老人保健施設 所沢ロイヤルの丘

（埼玉県所沢市）
施設長 鷺塚 誠

新年あけましておめでとうございます



今年は消費税が 10% に引き上げられます。また、今上天皇のご退位により年号が変わります。どういう 1 年になるのでしょうか？

昨年の介護報酬改定の概要は、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向けて、国民 1 人 1 人が状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、質が高く効率的な介護の提供体制の整備を推進とあり、相変わらず在宅復帰に力を入れています。当施設も在宅強化型老健に転換せざるを得ませんでした。幸いにして、6 月に在宅復帰率 30% を超えることができました。しかしながら在宅復帰率を上げると稼働率が下がるという問題が出てきました。

今後はこの問題を解決しながら、在宅復帰率 50% を目指していきたいと思いますので、皆様方のご支援をよろしくお願いします。



平成の森・川島病院

（埼玉県川島町）
院長 坂井 誠

新年のご挨拶



昨年も異常気象・自然災害や国内外に大きな出来事がありましたが、その中で癌の免疫治療に大きな恩恵をもたらした本席 佑先生のノーベル医学生理学賞受賞は、我々を勇気づける大変明るいニュースでした。

当院では昨年 5 月に慢性期病院 Ver.1.1 で 3 回目の病院機能評価更新認定を受けることができました。また 4 名の常勤医師に入職いただきましたので、急性期医療・在宅医療との一層の連携を図るべく、信頼される充実した慢性期医療を目指して参ります。

今年も高齢者の QOL を重視した医療、チーム医療の実践、地域社会との連携を 3 本柱として職員一同邁進しますのでどうぞよろしくお願いします。

介護老人保健施設 平成の森

（埼玉県川島町）
施設長 塚田 俊彦

新年明けましておめでとうございます



新年明けましておめでとうございます。

人口の急激な超高齢化と社会保障費膨張への対策として、国は老健施設に対し在宅療養支援の役割を明確にしました。これに沿った介護報酬改定の圧力を受け、老健はその在り方を変えてゆく必要があります。

昨今の人手不足の下、環境の変化に応じて組織の姿を変えるには、現職員の業務内容を見直す必要があります。そのためには職員の意識改革が必要です。しかし、最も重要なのは、自らが変化に挑戦する意欲を失わないことだと信じています。今年も、ピンチはチャンスと考えて頑張りたいと思います。

